



三菱 脱衣室暖房機 (壁掛タイプ)

形名
ダブル タイマー
ディーケー

WD-240DK2

据付説明書

販売事業者・据付事業者様用

- 本製品は住宅用です。業務用途では使用できません。
- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。据付けの前に、この説明書を必ずお読みください。

本製品の施工にあたっては、地域により防災上での制限（火災予防条例に基づく指導）がありますので、詳細は行政官庁または所轄の消防署にお問い合わせください。
(本製品は(一社)日本電機工業会で定める自主試験基準に適合しております)

■別冊の「取扱説明書」はお客様用です。お客様に必ずお渡しし、取扱説明書に従って正しい使いかたをご説明ください。

安全のために必ず守ること

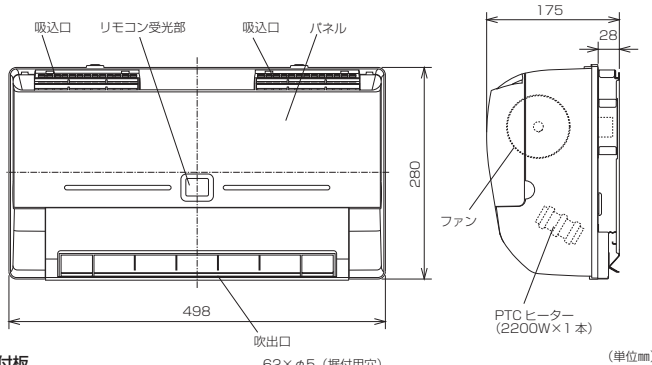
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	注意	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
-----------	----------------------------------	-----------	--------------------------------------

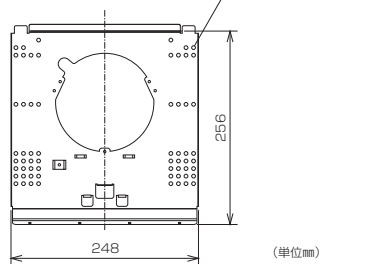
警告	注意
<ul style="list-style-type: none"> 禁止 本体は絶対に風呂場には据付けない ショート・感電の原因 分解禁止 直接炎のあたるおそれのある場所には据付けない 火災の原因 水ぬれ禁止 改造や分解はしない 火災・感電・けがの原因 製品をぬらしたりしない ショート・感電の原因 指示に従い必ず行う 単相交流 200V を使用する 単相交流 200V 以外で使用すると火災や感電の原因 電源電線の接続は確実に 不確実な接続は接続部が過熱して発火の原因 電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因 据付け後、長期間使用しないときは、分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因 アース線を必ず接続せよ アース線を確実に取付け、漏電しゃ断器を設ける 故障や漏電のときに感電の原因 	<ul style="list-style-type: none"> 指示に従い必ず行う 本体は十分に強度のある所を選んで確実に据付ける 落下により、けがの原因 部品の据付けは確実に 落下により、けがの原因 据付けの際は手袋を着用する 着用しないと、けがの原因 本体は床から 1.7m 以上の場所へ据付ける けがの原因

各部のなまえと寸法 (外形寸法図)

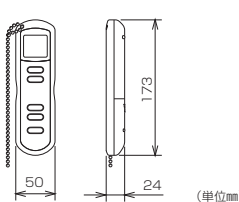
■本体



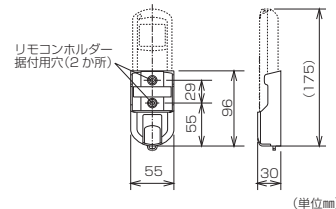
■据付板



■リモコン



■リモコンホルダー

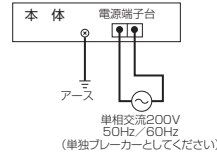


■付属品



■結線図

※太線部分を施工してください。



■現地で準備していただく部品

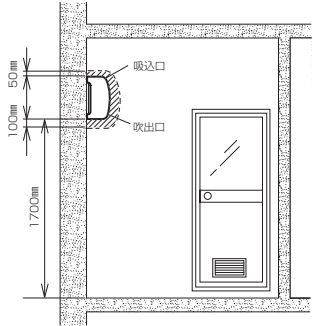
単相交流200V電源ケーブル	600V定格、VVFケーブルφ2	適宜
アース線	銅線直径φ1.6以上(または断面積が1.25mm ² 以上)	適宜
アース棒		適宜
		アース工専用

据付け前のお願い

- この製品は、住宅の脱衣室の壁面据付け専用です。脱衣室以外の場所への据付け、天井面への据付けはしないでください。
- 製品の質量は約 7.4kg です。据付ける壁面が十分に強度のあることを確認してください。状況によっては補強や追加の部材が必要になることがあります。
- リモコンは直接お湯や水がかかる場所には据付けしないでください。故障の原因になります。
- 製品下端から床面まで 1.7m 以上確保してください。
- 温風があたる位置にプラスチック材など熱による変形等の不具合が起きる可能性があるものを設けないでください。
- 製品の据付けには、下記の規制がありますので、あらかじめご確認ください。

地域により防災上の制限（火災予防条例に基づく指導）が異なりますので、所轄の行政官庁または消防署へお問い合わせください。

- 指定する寸法で据付けること。
- 本体は壁面に堅固に据付けること。
- グリル下方 100 mm未満の範囲内には造営材などを設けない。
- グリル上方 50 mm以上を確保すること。(グリル着脱のため)
- 漏電しゃ断器を設けること。

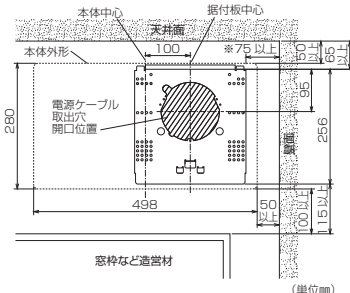


据付方法

1 据付け前の準備

- 開口位置 (右図) に電源ケーブル取出穴 (φ30) をあける
 - 背面は十分な補強を行なってください。

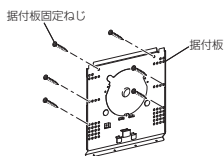
■ 据付け可能な開口位置・寸法
 ※ 下記は本体の端を据付板の端に合わせて据付けた場合の寸法です。本体と据付板の中心を合わせて据付ける場合は、「※」の寸法に100mm以上加えた寸法としてください。



お願い

この取出穴は電源ケーブル等を壁の裏側から引き出すためのものです。取出穴の切り口で電源ケーブルを傷つけないようにしてください。

- 据付板を付属の据付板固定ねじ6本で固定する



2 電気工事

- 電源は必ず分電盤の専用ブレーカー (20A) に接続する。
- 漏電しゃ断器は20Aのものを使用する。
- 壁スイッチを経由した電源の接続はしない。壁スイッチの焼損や本体の誤動作、故障の原因になります。
- D種接地 (アース) 工事を確実にを行う。
- 屋内配線に使用する電線はφ2.0を使用する。径が小さいと電線の焼損や火災の原因になります。

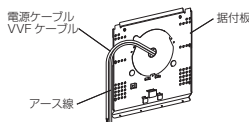
警告

- 単相交流200Vを使用する
- アースを確実に取付け、漏電しゃ断器を取付ける
- 電源電線の接続は確実に行う
- 配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実に行う

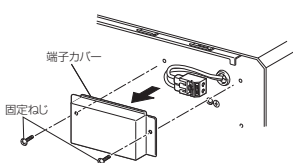
⚠ 指示に従い必ず行う

火災や感電の原因

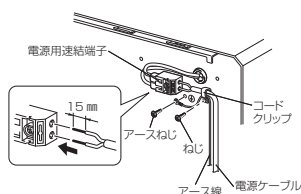
- 電源ケーブル取出穴から、配線 (電源ケーブル VVF ケーブル φ2.0・アース線) を約2m引き出す



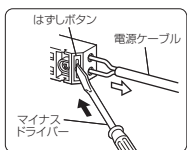
- 端子カバーの固定ねじをはずし、端子カバーをはずす



- 本体の「電源用連結端子」に電源ケーブルの芯線が見えなくなるまで差し込みコードクリップで固定する
 - リード線のむき寸法は15mmです。

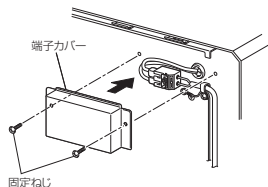


- 本体アースねじを使用して、必ずD種接地 (アース) 工事をを行う



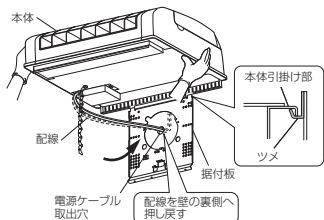
電源ケーブルのはずしボタンは電源ケーブルを取りはずすときは、連結端子のはずしボタンをマイナスドライバーなどで押しながら電源ケーブルを引き抜く。

- 元通りに端子カバーを取付ける



3 本体の据付け

- 本体の引掛け部を据付板の上部ツメに引掛ける
 - 本体は左右あわせて200mmスライドできます。
 - グリル下方100mm未満の範囲に造営材などが設けられていないこと、グリル上方50mm以上確保されていることを確認します。
 - 本体が据付板からはみ出さないように引掛けます。
 - 確実に引掛かっていることを確認します。

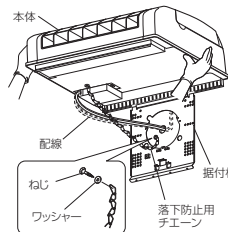


- 本体を手前に持上げて、電源ケーブルを壁の裏側へ押し戻す
 - 本体を手前に持上げる際、手をかける位置によっては、本体が傾く場合があるのでバランスのよい位置を選んで持ってください。

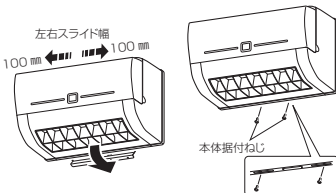
お願い

メンテナンス時、本体をはずせるように電源ケーブルは後から引き出せる長さを確保しておいてください。

- 壁面の補強された部分に落下防止用チェーンを取付ける

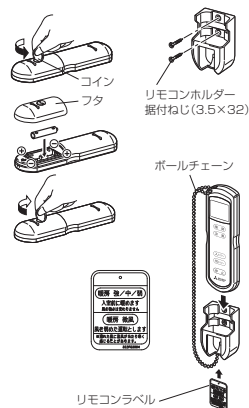


- 本体下部と据付板を付属のねじ2本で固定する
 - 本体を据付板に降ろす際、電源ケーブルがかみ込まないように注意する。
 - 本体のスライド位置により、ねじ固定位置が異なります。



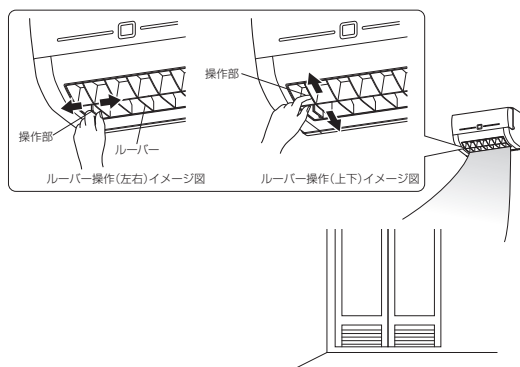
4 リモコンホルダーの据付け

- リモコンに付属の単4アルカリ乾電池2本を入れてフタをする
 - フタはしっかりと取付けてください。
- リモコンホルダーを付属のねじ2本で据付ける
 - リモコンは生活防水ですが、直接水やお湯がかかる位置には据付けしないでください。
 - お客様と相談の上、据付位置を決めてください。
 - ボールチェーンをはずしてご使用いただくことも可能です。
- リモコンラベルをリモコンホルダー下部のリングまたはボールチェーンに取付ける
 - ボールチェーンに取付ける場合は、なるべくリモコンホルダーに近い位置に取付けてください。



5 風向の調整

- 風が脱衣室の中央を向くように、ルーバーの角度を調整してください。
- ルーバーの角度の調整は操作部で操作してください。



据付後の確認

据付が完了しましたら、下表に従ってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。)内容を再度ご確認ください。問題がなければチェックボックスにチェックマーク✓を記入してください。

	確認項目	確認
製品据付	本体の据付けは緩みなどなく、確実に据付けられていますか?	<input checked="" type="checkbox"/>
	製品の吸込口、吹出口は塞がれていませんか?	<input type="checkbox"/>
電気工事	電源電圧は単相交流200Vですか?	<input type="checkbox"/>
	ブレーカーの定格、電源線の太さは適切ですか?	<input type="checkbox"/>
	アース工事 (D種接地工事) をおこなっていますか?	<input type="checkbox"/>
その他	吹出口の向きは正しいですか?	<input type="checkbox"/>

試運転

- 据付けが完了したら、再度結線が間違っていないか、ご確認ください。
- 次に、取扱説明書の「使いかた」を参照して、お客様立ち会いで全運転モードの試運転を行い、下記をご確認ください。

- 本体は確実に据付けられていますか?
- リモコンを操作して、取扱説明書どおり動作しますか?
- 運転中に振動や異常音がありませんか?

お客様への説明

- お客様が不在の場合は、発注者 (オーナーなど) または、管理人様へ説明してください。
- 別冊の取扱説明書に従って、正しい使い方を説明ください。
- とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようご説明ください。
- 引き渡しまで期間がある場合は、試運転確認後、リモコンの電池を抜き、この「据付説明書」は別冊の「取扱説明書」とともにお客様にお渡しください。

三菱電機株式会社

ご相談窓口
 平日 9:00~12:00 13:00~17:00 (土・日・祝・弊社休日以外)
 三菱電機 換気送風機技術相談センター……電話 0120-726-471 (無料) 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号
 この説明書は、再生紙を使用しています。